

第1回定例会・委員長報告

五年度室戸市国民健康保険事業特別会計予算について

「保健衛生普及費の委託料、脳ドック検診他委託料について、脳ドック検診の受診募集を百七十人に拡大したということだが、今後も拡大する見込みか。」と質疑があり、「平成二十一年度までは百人で実施をしてきたが、希望者が多いため、二十二年度に百五十人に拡大し、二十五年までは百七十人で予算措置をした。担当課としては拡大したいが、この事業の対象となる病院が一箇所のため、受入人数に余裕がない状況である。」と答弁があった。

次に、「同じく保健衛生普及費の委託料、水中運動プログラム運営他委託料八十二万一千円のうち、シレストむろとに関するものは。」と質疑があり、「水中運動プログラム運営他委託料のうち六十八万円がシレストむろとに関するものである。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十二号 平成二十五年 室戸市介護認定審査会運営事業特別会計予算について」

「審査会の開催状況と審査委員の人数について。」質疑があり、「審査会は毎週木曜日に開催しており、二十五年は五十一回開催を予定している。審査委員は十人であり、そのうち五人が隔週で審査している。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十三号 平成二十五年 室戸市介護保険事業特別会計予算について」

「歳入で、県補助金のうち介護基盤緊急整備事業費補助金が、前年度三千三百万円から本年度ゼロ円になっている理由について。」質疑があり、「この補助金は、小規模多機能型居宅介護施設建設及び開設に伴うものであり、平成二十三年度羽根町に一箇所開設し、二十四年度は室戸地区に一箇所開設予定である。二十五年については計画がないため予算措置をしていない。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十四号 平成二十五年 室戸市海洋深層水給水事業特別会計予算について」

「歳入の基金繰入金について、現在基金の残額はどれくらいか。」と質疑があり、「平成二十四年度当初で、海洋深層水給水基金については、二千二百四十五百八十円。振興基金については百五十九万五千円の残額である。」と答弁があった。

次に、「同じく歳入で海洋深層水使用料が前年度と比べほとんど増減がないが、給水契約者数の増減について。」質疑があり、「平成二十三年度では、個人契約者数が三千百十三件、前年度比二十二件の減。企業の契約者数が百十二件、前年度から変動なし。農林業関係が六十四件、前年度比六件の増。水産、健康増進関係が十四件、三件の減。合計で五百件、前年度比十九件の減である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十六号 平成二十五年 室戸市後期高齢者医療事業特別会計予算について」

「保険料の徴収について、本年度、普通徴収の者が増加した理由について。」質疑があり、「基本的に、介護保険料と後期高齢者医療保険料については、

年金から特別徴収しているが、その合算額が年金額の二分の一を超える」と年金から徴収できなくなる。平成二十四年度に後期高齢者連合が保険料を改定したため、保険料が年金額の二分の一を超える者が増加したためである。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十七号 平成二十五年 室戸市水道事業会計予算について」

「業務の予定量で、給水戸数の増減はどうか。また、給水栓数の増減についてはどうか。」と質疑があり、「給水戸数は上水道で十五世帯の増、簡易水道で十六世帯の減である。また、給水栓数については上水道で五十八栓数の減、簡易水道では、十九栓数の増であり、合計で三十九栓数の減である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第三十八号 市有財産の無償譲渡について」

「この漁船の漁業種別は何か。」と質疑があり、「漁業種別は、サンゴ、はえなわ、一本釣り

である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第四十一号 室戸市農業農村活性化農業構造改善事業施設（産地形成促進施設、地域食材供給施設、附帯施設）における指定管理者の指定について」

「指定管理者を公募の上決定したとのことだが、応募は何かあったのか。」と質疑があり、「問い合わせは四社あったが、応募したのはこの一社だけである。」と答弁があった。

次に、「施設の修繕について、修繕料は全て指定管理者が負担するのか。」と質疑があり、「市と指定管理者とが協定書を交わしており、その中で、修繕料の負担については定めている。」と答弁があった。

採決の結果、本案は可決すべきものと決した。

「議案第四十四号 市道路線の認定について」

「新設道路については、市道認定の後、事業に着手することになるが、市道延長が変更になった場合は再度議決の必要が生じるのか。」と質疑があり、「新設道路については、起

11